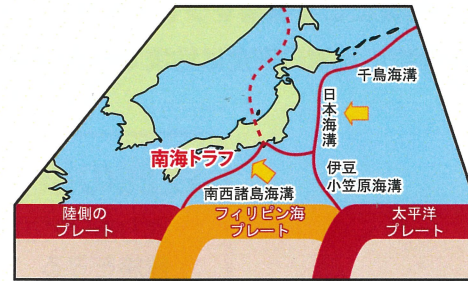


2-1.地震発生仕組みを知ろう

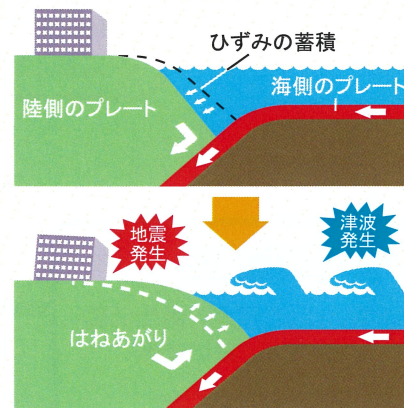
日本は、「陸側のプレート」と「太平洋プレート」、「フィリピン海プレート」の境界に位置しており、地震が多く発生する国です。地震の起こり方は、大きく「海溝型地震」と「活断層地震」の2種類に分けられます。



◆海溝型地震

海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこむことで、境界にひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときにプレートが元にもどろうとしてはね上がり、地震が起こります。「太平洋プレート」と「フィリピン海プレート」は、年間数cmの割合で「陸側のプレート」にもぐりこんでいます。

市に影響がある海溝型地震には、南海トラフで発生する南海トラフ地震があります。

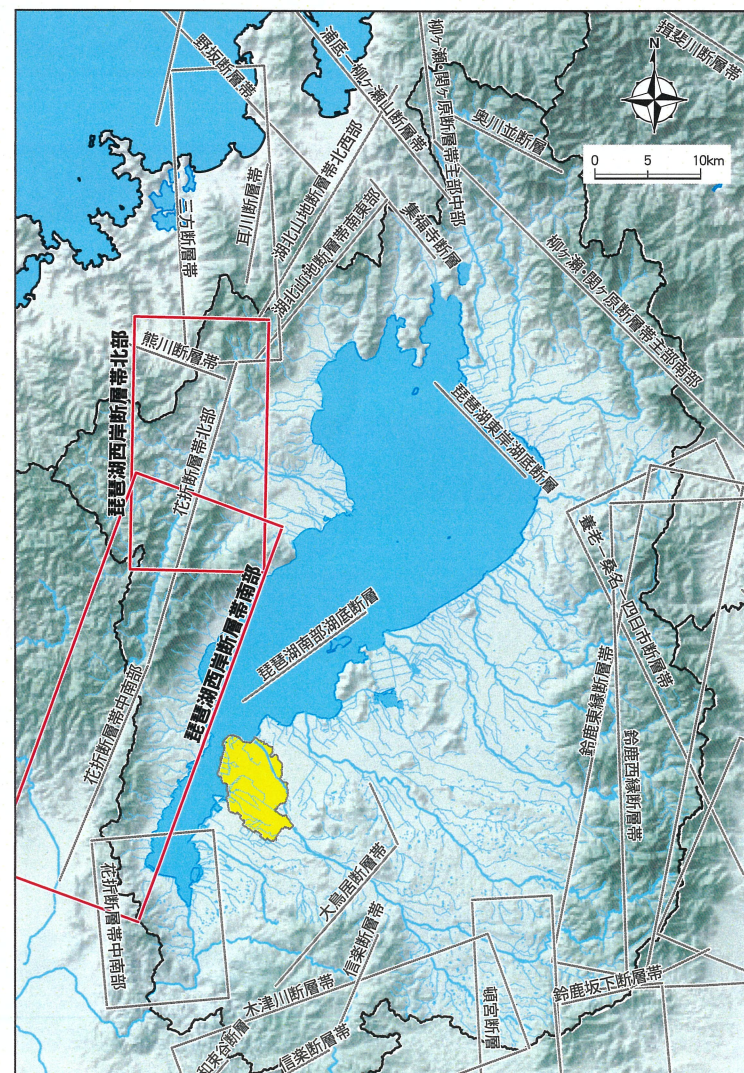
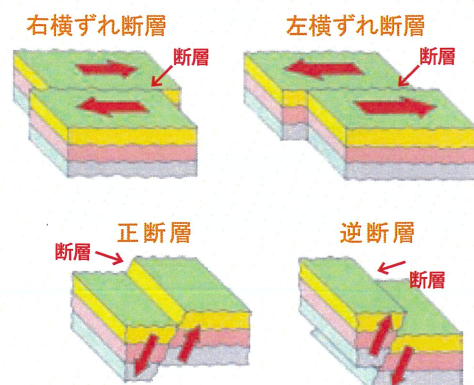


◆活断層地震

守山市の周辺には、活断層（最近の地質時代に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層）が確認されています。

地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることでひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときに、ある断層面を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。

特に、琵琶湖西岸断層帯は、活断層の中でも、活動性が高く、社会的、経済的に大きな影響を与えるような地震を起こすと考えられる断層帯とされています。



出典：「国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震ハザードステーション J-SHIS

2-2.過去の地震被害

滋賀県に被害をもたらした主な地震です。家屋への被害も多く発生しています。

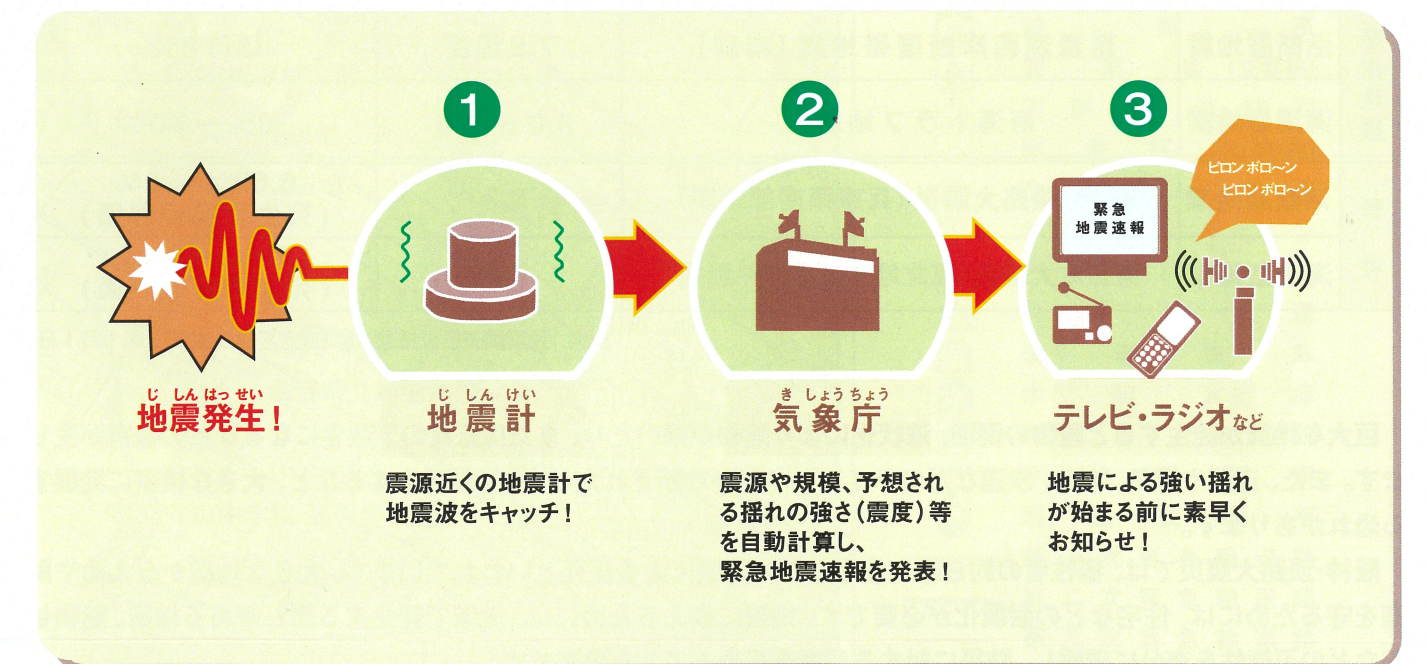
発生年月日	地 震 名	震 央	マグニ チュード	滋 賀 県 の 被 害 状 況
1891年10月28日 (明治24年)	濃 尾 地 震	美 濃 一 尾 張	8.0	県内の30%（東北部）が激震、残り70%（南西部）が烈震地域。死者6人、全壊家屋404戸。
1899年3月7日 (明治32年)	大 和 地 震	紀 伊 ・ 大 和	7.0	湖東平野南部に強い揺れ。
1909年8月14日 (明治42年)	姉 川 地 震	姉 川 流 域	6.8	山腹崩壊、地面の亀裂、地下水の変動、表流水の変動、噴砂現象などの被害。死者35人、全壊家屋2,192戸。
1923年9月1日 (大正12年)	関 東 大 地 震	関 東 南 部	7.9	彦根が震度4、古壁の落剥する程度。
1927年3月7日 (昭和2年)	北 丹 後 地 震	丹 後 西 北 部	7.3	電線、電話線の断線。負傷者2名。
1944年12月7日 (昭和19年)	東 南 海 地 震	東 南 海 沖	7.9	被害は、湖北の湖畔デルタもしくは泥炭の発達地域に集中。負傷者1人、全壊家屋16戸、工場全壊3棟。
1946年12月21日 (昭和21年)	南 海 地 震	南 海 道 沖	8.0	工場の全壊や、電話線、電線の断線等の被害。死者3人、全壊家屋9戸。
1948年6月28日 (昭和23年)	福 井 地 震	越 前 平 野	7.1	彦根地方で全壊家屋1戸。
1952年7月18日 (昭和27年)	吉 野 地 震	奈 良 県	6.8	死者1人、負傷者13人、全壊家屋6戸。
1995年1月17日 (平成7年)	阪神・淡路大震災 (兵庫県南部地震)	大 阪 湾	7.3	彦根で震度5を記録。負傷者9人。

出典：「滋賀県地域防災計画」に一部加筆

2-3.緊急地震速報って何？

『**緊急地震速報**』は、大きな地震が発生したときに、地震の発生直後に地震計でとらえた観測データを素早く解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）、予想される揺れの強さ（震度）を自動計算し、強い揺れがくることを事前に知らせる警報です。また、観測点に強い揺れが到達し、周辺地域にも強い揺れが来ることが予想される場合は、その旨あわせてお知らせします。

守山市では、自宅や学校などの公共施設において、即座に初動対応が取れるよう、有線放送を活用した緊急地震速報を実施しています。



出典：「政府広報オンライン」